



広島大学

センター長・長町三生

①民間機関等との共同研究・受託研究を行う
②民間機関等の技術者に対する技術教育を行う
③民間機関等に対する科学技術情報の提供を行
う

④民間機関等からの技術相談に応じる
⑤外国人研究者との共同研究を行う
⑥大学院学生に実践的技術教育を行う
⑦地域社会における学術研究交流に貢献する

他大学地域共同研究センターと若干異なる特色は、本センターではすでに米国、英国等の外国大学研究者と「先端的生産システム」に関して共同研究を実施していることと、他地域の大学・公設研究施設・県市町村等と学術的ネットワーク(仮称「ひろしまテクノアカデミア」)を組んで、広島地域の技術的強みを強化し弱みにデコ入れをする面的活動を計画している点である。

二、センターの組織と施設

平成六年度までに四十三校の国立大学に地域共同研究センターが認可され、そのひとつとして、広島大学地域共同研究センターが平成七年四月一日から発足した。それ以前に工学部内に技術相談室を設け、技術相談活動を行うかたわら、センター設置に向けて概算要求等の作業を実行してきた。

そもそも地域共同研究センターとは、企業などの民間機関と大学との共同研究・受託研究等を受け入れなどの活動によって、地域産業界の活性化のための支援を行うことを目的としており、その活動内容は次のとおりである。

センター長：広島大学教授による併任
専任助教授：現在は工学部により選任
客員教授：年間を通して三名
となっているが、①～⑦までの業務をこれだけの組織では困難があるので、工学部の理解により、その活動内容は次のとおりである。

本年は「軽合金高性能化研究会」(福永秀春教授)、「水環境技術研究会」(岡田光正教授)、「現場管理研究会」(中村信人教授)、「エルゴデザイン研究会」(長町三生センター長)が開催されている。

III センター設立を記念しての事業

一文部省助成により十二月十六日㈯に実施され。

(一)特別講演会
講師：水野博之氏

(二)シンポジウム
テーマ：「日本の製造業と技術開発の行方」
日時：十三時～十四時三十分
(工学部二二〇号教室)

・日時：十三時～十四時三十分

本年度の第一次補正予算で建物の建築費が認められ、一一四二平方㍍(2階建て)が、広島中央サイエンスパーク内に建設され、来年三月末に完成の予定であり、平成八年度は八件の共同研究が実行される予定である。

二、本年度のセンター活動

本年度の活動は次のとおりである。

I テクノフォーラム—最先端技術の話題を講演
会形式で提供する。

(一)第一回テクノフォーラム(六月二十六日)
「阪神大震災による構造物の被害状況と損壊原因」

田澤 栄一氏(工学部教授)
南 宏一氏(福山大学教授)

(二)第二回テクノフォーラム(十月二十六日)
「二十一世紀のロボットをめざして」

川村 貞夫氏(立命館大学教授)
金子 真氏(工学部教授)

(三)第三回テクノフォーラム(十一月三日)
(統合移転完了記念講演会)
「バーチャルリアリティ技術とその未来」

廣瀬 通孝氏(東京大学助教授)

II 先端技術研究会―四件

・時 間：十三時～十七時
・場 所：工学部大会議室
大人まで楽しんでもらえる実演を準備する予定

・時 間：十三時～十七時
(ながまち・みつお)